

計算に自信がもてるように

こんな児童です (小学校5年生)

- ・ 集中が続かず、授業中に他事をする。
- ・ 算数のかけ算、わり算、ひき算など、基本的な計算が苦手で時間がかかる。

$$\begin{array}{r} 23 \\ \times 9 \\ \hline \end{array}$$

???



担任の願い

- ・ 基本的な計算ができるようになる。
- ・ 授業中、積極的に活動できるようになる。

通級による指導での実践

◎ 視覚的なヒントにより基本的な計算の仕方を学ぶ

【かけ算とわり算の筆算】

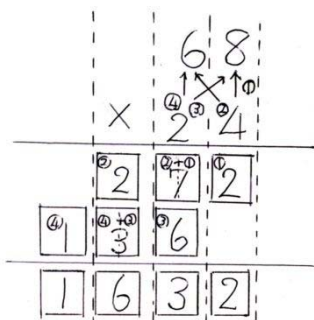
【例】九九表と計算手順カード

九九表

×	1	2	3	4	5
1	1	2	3	4	5
2	2	4	6	8	10
3	3	6	9	12	15

1 九九表を自分で作る。

<p>かけ算の筆算</p> <p>2 かける順を書いたカードで手順を確認する。</p>	<p>わり算の筆算</p> <p>2 カードを示しながら、手順を説明する。</p>
--	--

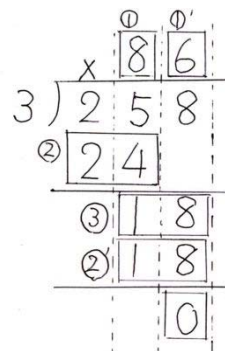


矢印とマスに色を付ける。

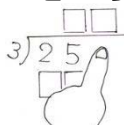
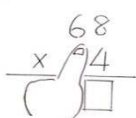
- ① ピンク
- ② 緑
- ③ 青
- ④ 黄

どこからたつ

- ① たてる(ピンク)
- ② かける(緑)
- ③ ひく(青)
- ④ おろす(黄)
- ① ~④くりかえし



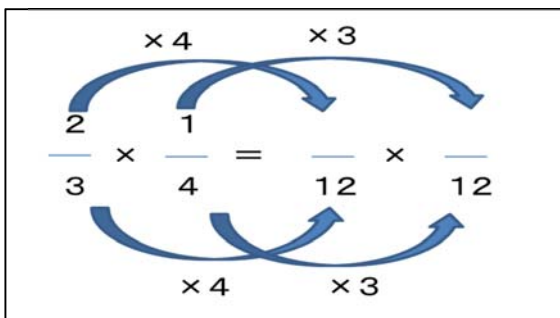
3 計算しやすいように、必要ないところは指で隠して練習する。



4 手順を書いたカードと同じ色のプリントの問題を、九九表を見ながら練習する。

◎ 視覚的なヒントをもとに自分でかき込ませる

【分数のかけ算】



★★通級による指導との連携★★

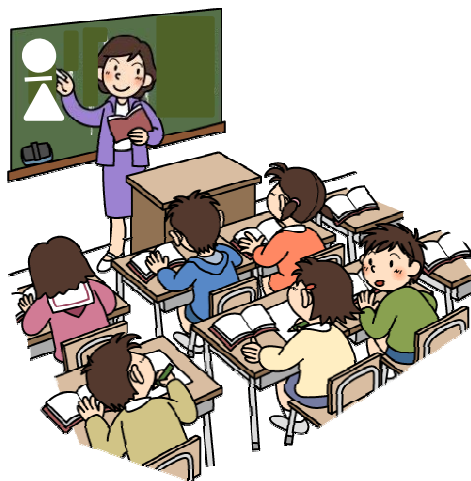
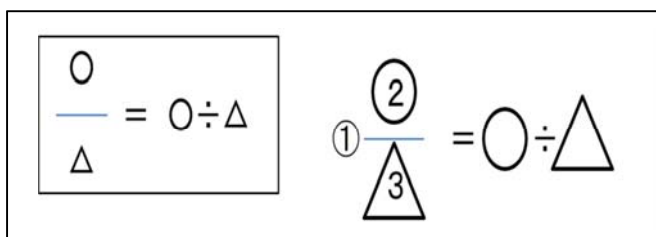
- ・ 通常の学級で学習する前に、通級による指導担当教員から、視覚的なヒントをもとに、くり返し行うことを学び、学習の定着を図るとともに自信をもたせる。

取組の工夫

- ・ 児童が分かりやすいとつぶやいた方法は取り入れる。
- ・ 問題の量を調整し、できたことへの達成感をもたせる。
- ・ 「分かりません」「教えてください」などの発言に対しても、質問できたことを褒めた。

◎ 学級全体の指導では、問題のヒントを視覚的に示す。

【分数を割り算で表す】



取組の工夫

- ・ 机間指導の中で個別に支援を行う。
- ・ 視覚的なヒントを学級全体への支援にも利用した。

成 果

- 自主的に家で計算問題を解くことがあるなど、分かる楽しさを味わったことで、学習に前向きになっている。
- 途中で諦めず、問題が解けないときには、自分から教師に質問できるようになってきた。
- 基本的な計算方法が少しずつ理解できるようになってきた。

黒板の字をノートに書くことができるように

こんな児童です（小学校4年生）

- ・ 登校後、ランドセルを片付たり連絡帳を書いたりすることが後回しになる。
- ・ 授業中に黒板の字をノートに書かないことがある。
- ・ 椅子に座って姿勢を保つことが苦手である。
（床に寝たり机の上に伏せたりする）



担任の願い

- ・ 話を聞くときの姿勢（椅子に座った時の姿勢）が保てるようにする。
- ・ 黒板の字をノートに書いたり、連絡帳を書いたりすることができる。

通級による指導での実践

◎ 指示に応じた活動が続けられるようにする

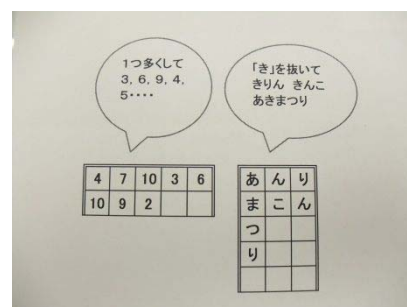
【集中するためのトレーニングをする】

- 1 肩や腕、首の力を抜いて座る
- 2 良い姿勢で一定時間座る
- 3 聞いたことを書くトレーニングをする

【例 数字や言葉を書く】

- ① 読み上げられた数字・言葉を聞いて書く。
- ② 聞いたことから考えたことを書く。
 - ・ 読み上げられた数字に2をたした数字、1を引いた数字、5をかけた数字などを書く。
 - ・ 読み上げられた言葉の、ある文字を抜いたものを書く。
 - ・ 聞き取りをして書いた言葉の反対語を書く。
- ③ 聞いて記憶したことを書く。
 - ・ 5個の数や3語の言葉をまとめて聞いた後、記憶して書く。

※ がんばってできたことを、シールを使って評価していく。

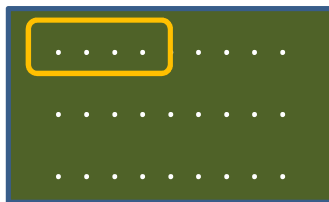


通常の学級での実践

通級による指導を生かして

(学びの連続)

- ◎ 細かく区切ってノートに写すところを指定する



- ◎ 目標を話し合っ考える

【考えた目標を得点で評価する】



(留意点)

- ・ 毎日担任が記入する。
- ・ 自己採点をさせる。
- ・ 連絡帳を通して保護者に伝える。

先生用		
	目標	得点
①	じゅぎょう中のしせいをよくしよう (イスにすわる。寝転がったりしない。ゆびしゃぶりや手遊びはガマンしよう。)	
②	じゅぎょう中、先生のいうことをきこう (「教科書を出しましょう」「〇ページをひらきましょう」、「わかる人は手を上げましょう」などの話をよく聞いて、話した通りに動こう。)	
③	じゅぎょうの準備、教室のいどはスムーズにしよう (朝の準備の時間、体育、音楽などの教室いどは、遅れないようにしよう。)	
④	苦手なことにチャレンジしよう (やりたくないこと、苦手なこと、めんどうくさいことがあった時にも、チャレンジしよう。)	
得点の意味		
5点	たいへんよくできている時、全てがかんげきな時は5点がつきます。たまにしか5点はつきません。	
4点	よくできている時につきます。でもすこし目標を忘れてしまうと、4点がつきます。でもじゅうぶん合格点です。	
3点	目標が半分くらいできている時につきます。合格ギリギリ点です。	
2点	目標が守られていない、とほんたんされたら2点がつきます。合格ではありません。次がんばりましょう。	
1点	例えば、授業中、イスにすわらずにねてしまったり、先生から言われても教科書を出さなかったり、いどがおそくてじゅぎょうに遅れてしまい、ほかの子にめいわくになどのことがあると、1点がつきます。とてもごんねんな点です。	

今日は20点です。

がんばったね!



★★通級による指導との連携★★

- ・ 通常の学級だけでなく、通級による指導の中でも様々な場面でシールや点数による評価を行い、意欲が継続できるようにする。

取組の工夫

- ・ 声をかけ、点数を意識させる。
- ・ 限定した行動に目標を絞ることで、すべきことを分かりやすくする。

成果

- 目標が明確になり、目標を達成しようとする行動が多く見られるようになっている。
- 連絡帳を通して保護者の方に伝えることで、保護者と同一歩調で褒めることができる。